科目名	現代社会と政治Ａ　　Modern Society and Political Science A						
科目担当者	千知岩 正継　　CHIJIIWA Masatsugu						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　人間形成］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　人間形成］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(2)
授業の概要	本授業では、政治（学）の基本中の基本を学ぶことで、履修者一人ひとりが有権者として主体的に社会・政治参加するために必要不可欠な知識を獲得することを目指します。それと同時に、政治（学）がとても奥深く、興味深い営為・学問であることを伝えたいと考えています。 本授業は、政治学の入門科目として、国内政治にフォーカスします。国際政治は「現代社会と政治 B」で扱います。						
授業の到達目標	①国家、権力、権威、立憲主義、民主主義、リベラル、保守など、政治（学）の基本的な言葉を理解し、説明できるようになる。 ②日常生活の中で政治現象を見出し、それを政治（学）の言葉を使って説明ないし体験できるようになる。 ③政治に関して自分の意見や立場を明確にし、今までよりも政治に前向きになれる。						

授業計画・内容		
	1	政治（学）とは何か：統治、闘争、秩序
	2	政治と国家：近代国家、主権、国民国家
	3	政治意識と政治文化：政治意識、政治的無関心、政治文化
	4	市民革命と近代国家の諸原理①：王権神授説、社会契約論、市民革命
	5	市民革命と近代国家の諸原理②：立憲主義、法の支配、基本的人権
	6	デモクラシーの発展と変容：自由主義、民主主義、社会主義
	7	非民主的体制：独裁、全体主義、権威主義
	8	福祉国家の諸問題：福祉国家、新自由主義、小さな政府
	9	現代の政治体制①：権力分立、議員内閣制、大統領制
	10	現代の政治体制②：アメリカ、イギリス、中国の政治制度
	11	国会と立法：二院制、ねじれ国会、族議員
	12	内閣と行政：内閣、総理大臣、官僚性
	13	政治参加と選挙：投票、小選挙区制、二大政党化
	14	地方自治：住民自治、地方分権、機関委任事務
	15	現代日本政治の動向と重要争点」：無党派層、自民一強、リベラル／保守

授業外学修 (事前学修)	前回の配布プリントの再確認、テキストの指定箇所の熟読、国内外の政治関連ニュースのチェック（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	配布プリントとノートの点検、設問の解答、授業中に紹介した参考文献の熟読 （毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	50%	①、②、③
	ミニ・レポート	20%	①、③
	リフレクション・カード	20%	②、③
	授業中の質疑やクイズへの積極的参加	10%	②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	佐藤史郎、上野友也、松村博行『はじめての政治学 第 3 版』法律文化社、2021 年。
参考文献	斎藤美奈子『学校が教えないほんとうの政治の話』筑摩書房、2016 年。
その他	Moodle 上からのアナウンスで連絡をするのでメールの確認をしっかりすること。